

平成 25 年度 事業報告

法人全体

平成 25 年度パーマリィ・イン中道におきましては、施設全体での稼働率は 92%になっており、前年度より 1%増の結果となりました。

また、パーマリィ・イン千鳥山荘におきましては、施設全体での稼働率は 88%となっており、前年度より 4%減の結果となりました。

続いて、パーマリィ・イン西神春日台におきましては、施設全体での稼働率は 86%となり、前年度より 3%減の結果となりました。

パーマリィ・イン中道

特別養護老人ホーム

平成 25 年度は 93%（前年比 4%減）の稼働率となりました。

年間を通して、医療機関への入院者が多く、入院期間についても長期になったことによる影響が大きかったと考えます。

事業計画としましては、施設内会議・研修 91 件実施、施設外研修 93 件参加し、実習生は 25 名受け入れ、ボランティアの方々は 412 名受け入れております。

短期入所生活介護

平成 25 年度は 97%（前年比 2%減）の稼働率となりました。

特養と同様に長期利用予定者の入院や特養への入所等が重なることが多く見られた影響と考慮しております。

通所介護

平成 25 年度の稼働率は 88%（前年比 5%増）となりました。

近隣の居宅介護支援事業所等に対して、事業所案内等の配布を行ない、新規利用者の増加、送迎時間について柔軟に対応し、利用者のご要望に可能な限り対応できた結果によるものと考えております。

訪問介護

ほぼ前年度と同様の稼働率を維持しております。延べ利用者数はやや減少しましたが、要介護度 3～5 の利用者のサービス提供時間が前年度に比べ、増加傾向にありました。

居宅介護支援

平成 25 年度の稼働率といたしましては、地域包括支援センターと連携し、新規利用者の増加もあり、前年度と同様の稼働率を維持できたと考えております。

地域包括支援センター

介護予防プラン作成のほか、地域の高齢者が安心した生活を継続できるよう、医療・福祉・地域との連携はもちろんこと、虐待や対応困難事例に関しては、区あんしんすこやか係り等、行政や関係機関と協働し、年間 11 件の問題解決に努め、現在も継続しております。

センター主催にて、研修会や連絡会を開催し、民生委員や婦人会、自治会の参加、また圏域の居宅介護支援事業所や訪問介護事業所等も加わった、地域見守り支援者のネットワーク作りを構築、住民相互の見守り意識を高めるための啓発を行ない、地域との深い係わり合いを持たせていただきながら、活動を行いました。

見守り推進事業

区社会福祉協議会・民生委員・婦人会・自治会等の地域見守り支援者との、顔の見える関係作りと連携、また茶話会やウォーキンググループ活動等を行ない、地域のコミュニティ作りを行ないながら、地域の把握・見守りに努めました。

介護機能強化モデル事業（LSA）

ルゼフィール中道住宅の住民の方々に対して、訪問活動や電話による安否確認、また生活相談を行いながら、必要時は行政や担当ケアマネジャー、地域包括支援センター等、各関係機関と連携し、安心して暮らせるための支援を行ないました。

モデル事業として安否確認の機能も果たす配食サービスの提供、集会所を利用した健康教室や栄養教室の開催、また茶話会や映画鑑賞会等、住民の集える場の提供を行いながら、住民相互の見守り意識の強化にも努めていきました。

平成 25 年度 事業報告

パーマリィ・イン千鳥山荘

特別養護老人ホーム

平成 25 年度は、95%の稼働率となり、前年度と同様の稼働率となっております。重度化が進んでいるが、入院者数が減少しており、入院者数の延べ人数が年間 31 人（前年度比 5 人減）。入院延べ日数では、年間 388 日（前年度比 1 日減）となっております、前年度と比較すると 0.01%減少しました。

施設行事等に関しましてはボランティア等の受け入れを積極的に行い、また地域で開催している、防災ネットワーク会議や、まちかどクリーン作戦に参加するなどし、地域との繋がりを強化することにより、地域交流が深まり充実した内容となりました。施設内会議・研修は 198 件実施、施設外研修には 36 件参加しました。また、ボランティアの方々は約 211 名受け入れ、実習生に関しましては 126 名の受け入れとなりました。

短期入所生活介護

平成 25 年度は、94%の稼働率となりました。ユニット型個室の特性を背景にサービスを展開し、リピーターの利用者を中心に個別対応を強化しました。施設入所や体調不良によるキャンセルもあったものの、急な受け入れに対し迅速な対応を行いました。

通所介護

平成 25 年度は、87%の稼働率となりました。継続した新規獲得の為、地区の地域包括支援センターや各支援事業所と連携を密に取り、新規利用依頼に対し迅速な面接を行うなど受け入れ体制を強化しました。利用者の個別対応や、ケアプランの見直しを行ない、サービス面で質の向上に努め、定期利用者数が増加に繋がりました。

小規模多機能型居宅介護

平成 25 年度は、91%の稼働率となりました。当サービスの利点の柔軟性を強化し、利用者・家族の要望に沿った送迎体制と迅速な受け入れや、さまざまな形態の要望に沿えるよう努力した結果、提供サービス全体のバランスも良くなり、サービス提供における受け入れ範囲が増す事により、その結果安定した運営が維持できました。

訪問介護

平成 25 年度は、利用者の入院・入所が多く見られましたが、地区の地域包括支援センターや各支援事業所との連携を保ち、新規利用者の獲得に迅速に対応する事により安定したサービス提供を行なえました。

居宅介護支援

平成 25 年度は、近隣のあんしんすこやかセンターとの会議等に積極的に参加し連携を強化する事により、新規利用者の獲得が順調にでき、またサービス面においても利用者や家族の要望に柔軟に対応できるよう、担当者会議等を有効に活用して利用者や家族と各サービス事業者との調整を随時行うことにより、安定した運営を維持できました。

平成 25 年度 事業報告

パーマリィ・イン西神春日台

特別養護老人ホーム

平成 25 年度につきましては、年間で 15 名の退所が有りましたが、入所手続きを円滑に行う事で年間の稼働率は 95%と安定した稼働となりました。

昨年度同様、地域の方々や保育園の園児達、また隣接する滝川第二中・高等学校と関わる機会を多く持つ事ができ、それら全てのボランティア活動を合わせると、年間で延べ 501 名もの皆様に活動をして頂きました。

施設も 3 年目の運営となり、施設内外の研修を 334 件行い、より一層の職員の資質向上に努めております。

実習生の受け入れも、介護職員初任者研修の介護実習の受け入れや、看護師を目指す看護学校からの受け入れが有り、合わせると延べ 92 名になりました。

ケアハウス

平成 25 年度は、年間で 95%の稼働率となりました。施設も 3 年目となり、開設当初からの入居者においても、介護度が高くなられる利用者も居られましたが、機能訓練の積極的な実施により、お元気に生活していただけるように努めております。

短期入所生活介護

平成 25 年度は、年間で 94%の稼働率となりました。年間を通じて高い稼働率で推移しています。長期の利用から同施設内の特別養護老人ホームやケアハウスへ移行される利用者も多く、特養への入所を待たれている近隣地域の方々にとっての重要な役割を果たす事が出来ています。

通所介護

平成 25 年度は、年間で 76%の稼働率となりました。今年度に於きましては、前年度末に当初の一日定員 20 名に達する利用者数になった為、25 年 4 月からは、一日定員を 30 名に増加する届け出を致しました。登録利用者数も年度を通じて増加しており、2 月以降は稼働率 80%を超える利用となっています。

訪問介護

平成 25 年度は、特に 10 月から利用者数も大幅に増加しております。理由と致しましては、訪問介護員の資質の向上により、介護度の高い利用者など様々な利用者への対応が可能になった事と、併せて周辺事業所との連携の強化を図ることにより、利用者の登録の増加につながりました。

居宅介護支援

平成 25 年度は、昨年の介護支援専門員の増員以降、利用者も増加しており様々な利用者に対応するため、平成 26 年 2 月から、法人内での異動により経験の豊富な介護支援専門員を 1 人増員しています。地域の高齢者の介護相談を積極的に行ったり、地域の連絡会や給食会などにも積極的に参加し、地域の高齢者福祉の大きな支えとなっています。